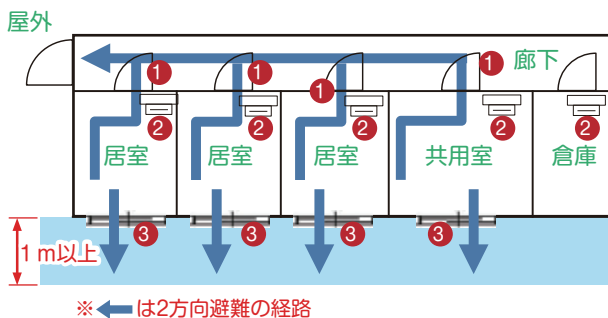


平成27年4月1日 施行
【既存店向け】 消防法令改正後の動向 ①



2017.06

2017年5月に大阪池田市の施設にて、消防署が立入検査の際に、施設の状況を
確認したうえで、消防法令改正の概要『規則12条の2(2項2号)』が適応できる
可能性があるとの報告を受けました。

新たに設けられた構造	規則 12条 の2 2項1号	延べ面積 100 m ² 未満 ○単一用途 ○入居者が利用する居室が避難階 <u>I 内装不燃化</u> ○避難経路を準不燃材料 ○その他の部分を難燃材料	<table><tr><th colspan="5">廊下</th></tr><tr><td>居室</td><td>居室</td><td>居室</td><td>共用室</td><td>倉庫</td></tr></table>	廊下					居室	居室	居室	共用室	倉庫
	廊下												
	居室	居室	居室	共用室	倉庫								
規則 12条 の2 2項2号	ア 延べ面積 100 m ² 未満 ○単一用途 イ ○入居者が利用する居室が避難階 <u>II 内装不燃化を要しない</u> ① 居室区画（扉は自動閉鎖） ② 煙感知器 ③ 各居室の開口部 ・屋内外から容易に開放 ・幅員 1 m以上の空地に面する。 ・避難できる大きさ等 ④ 2方向避難が確保されている。 ⑤ 火災の影響の少ない時間内に 屋外へ避難できること。	 <p>※ ← は2方向避難の経路</p>											
規則 12条 の2 3項	共同住宅の一部を施設としたもの（他の用途は存しないもの） ○施設部分の延べ面積の合計 275 m ² 未満 ○防火区画 ・施設部分の各住戸を準耐火構造の壁、床で区画（扉は防火設備） ・施設部分の各住戸が 100 m ² 未満 ○住戸内 ・居室および通路に煙感知器 ・避難経路（他の居室を通過しない。） ・居室の通路側扉は自閉式で不燃材料 ○内装制限あり（避難経路は準不燃材料、その他の部分（居室を含む。）は難燃材料）												

ア 池田の施設は2階建ですが、池田消防署の
解釈としては、延べ面積とはあくまで
デイサービスとして使用する部分のみであり
単一用途とする

イ 2階・3階で運営している施設は該当しない。

II 内装不燃化を要しない5つの条件

① 居室区画の扉は自動閉鎖

【重要】戸は耐火性のモノでなくても良い。
煙の流動を広げないために自動閉鎖すること。



↑ 引戸用のクローザー



↑ 開戸用のクローザー
開けた状態で止まらないように
ストッパーを解除。

② 居室の感知器は『煙感知器』であること

開所当初6項（ロ）の指導で設備を付けている
施設に関しては、ほぼ該当する。
※念のため防災業者に確認してください。

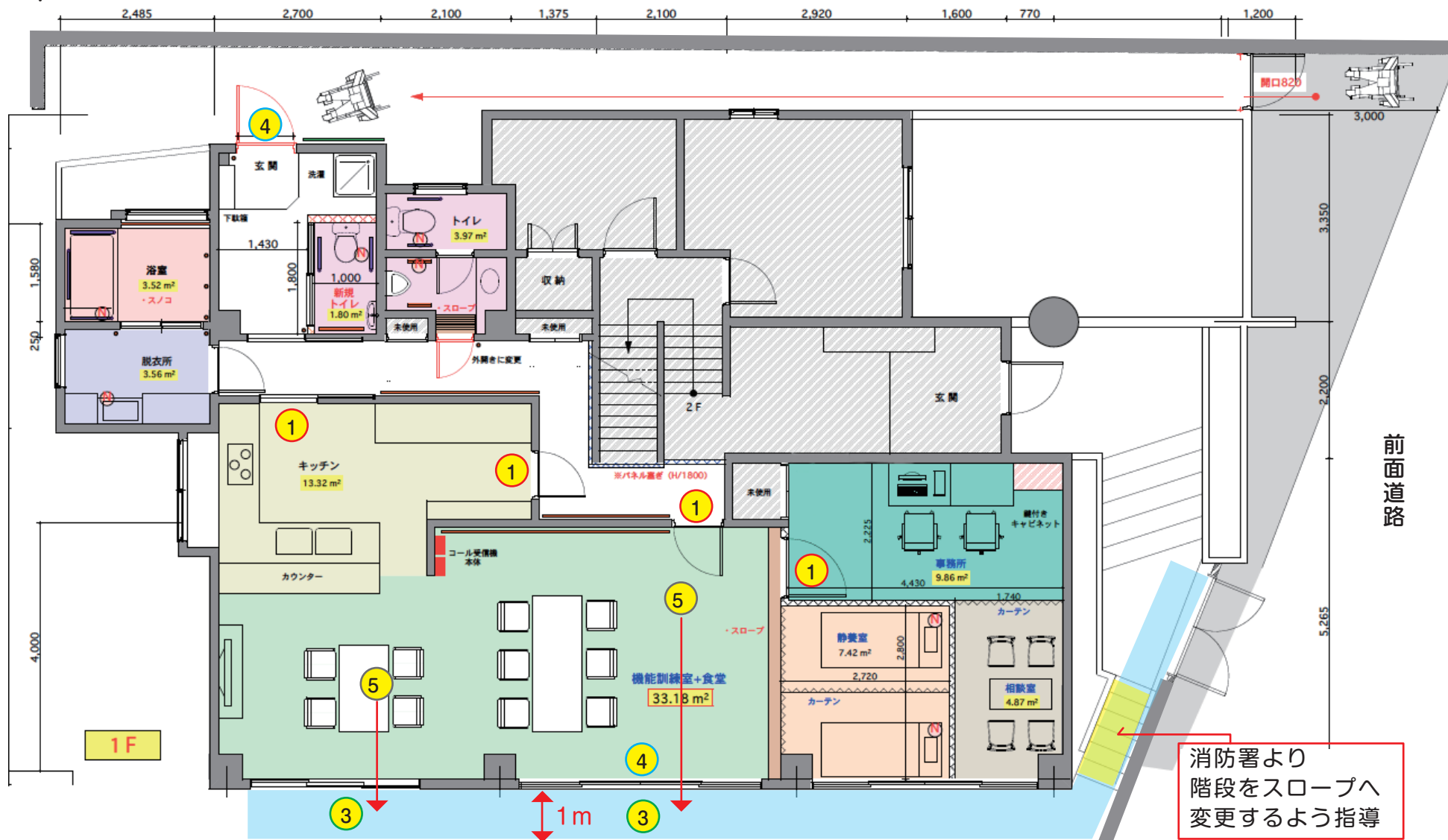
③ 居室の開口部 ④ 2方向避難

実際、消防署に図面及び、現地確認をしてもらい
判断してもらうこと。

⑤ 屋外への避難時間

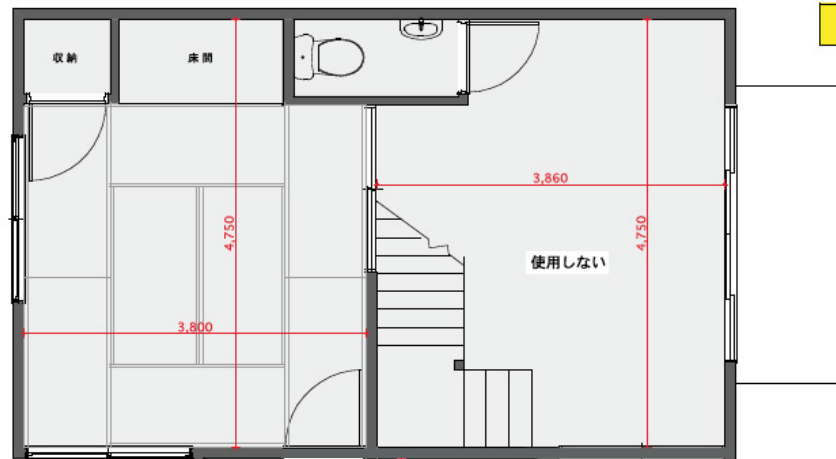
消防署が現地確認をしベッドの配置状況等も
踏まえて算出してくれます。

図解 - 1



- ① 居室区画の扉は自動閉鎖（４箇所）
③ 居室の開口部（幅員 1m 以上の空地に面する）
④ 2 方向避難 ⑤ 消防隊員が現地にて状況を確認し避難時間を算出→当施設はクリア

図解 -2



1F

- ① 居室区画の扉は自動閉鎖（1箇所）
- ③ 居室の開口部（幅員1m以上の空地に面する）
- ④ 2方向避難
- ⑤ 消防隊員が現地にて状況を確認し避難時間を算出
→当施設はクリア
- ※ ⑤ 宿泊人数が6人以上の場合は、この位置からの
避難時間がかかるため、6人以上宿泊させるなら
(A)の窓を「掃出し窓」にすること

